

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成 27年3月 30日

計画の名称	7 松阪・紀勢生活創造圏における幹線道路へのアクセス強化と安心安全を強化するまちづくり		
計画の期間	平成21年度 ～ 平成25年度 (5年間)	交付対象	松阪市、多気町、明和町、大台町
計画の目標			

主要幹線道路へのアクセス強化による安全かつ快適な道路ネットワークの整備と通学路における危険箇所の対策を実施し、併せて沿道施設的环境改善や救急・消防活動等の緊急体制を支援し災害に備えた防災対策機能を強化することにより、安全で安心して生活でき地域が活性化するまちづくりを目指す。

計画の成果目標（定量的指標）
 主要幹線道路へアクセスする道路の平均走行速度の向上。
 通学路における危険箇所（H24緊急合同点検対策必要箇所）の対策率の向上
 沿道施設の整備による生活環境の向上や災害に備えた防災機能の強化が図れた地区整備率の向上。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)							
	① 幹線道路とアクセス不便地間における平均走行速度の算出 平均走行速度＝アクセス経路の全延長÷（アクセス経路の整備済み区間の走行時間＋アクセス経路の未整備区間の走行時間）	18km/h	20km/h		23km/h					
② 通学路において道路管理者が対策を講じるべき危険箇所（H24合同点検対策必要箇所）の対策率の算出 危険箇所対策率＝対策済み箇所数÷H24緊急合同点検対策必要箇所×100（%）	0%	0%	39%							
③ 沿道施設の整備による生活環境の向上や災害に備えた防災機能の強化が図れた地区整備率を算出 生活環境の向上や防災機能の向上が図れた地区率（%）＝生活環境の向上や防災機能の向上が図れた地区数÷コミュニティ地区数×100（%）	0%	26%	32%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,821 百万円	A	2,528 百万円	B	0 百万円	C	293 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	10.4%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	平成27年3月
交付対象市町において目標の達成状況やその要因を確認・とりまとめを行い事後評価を実施	公表の方法
	各市町のホームページ等により公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A1 道路事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
											H21	H22	H23	H24	H25			
7-A1	道路	一般	松阪市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)島田北10号線	バイパス L=460m	松阪市						124	
7-A2	道路	一般	松阪市	直接		市町村道	改築	0.55	(1)星合舞出線	現道拡幅 L=340m	松阪市						74	
7-A3	道路	一般	松阪市	直接		市町村道	修繕	0.55	(1)野々口宮前旧国道線(野々口橋)	耐震補強 N=1橋	松阪市						58	
7-A4	道路	一般	松阪市	直接		市町村道	修繕	0.55	(他)新大洲線(大洲橋)	耐震補強 N=1橋	松阪市						59	
7-A5	道路	一般	松阪市	直接		市町村道	修繕	0.55	(他)栃川線(栃川橋)	耐震補強 N=1橋	松阪市						34	
7-A6	道路	一般	松阪市	直接		市町村道	修繕	0.55	(1)柏野線(新柏野橋)	耐震補強 N=1橋	松阪市						29	
7-A8	道路	一般	多気町	直接		市町村道	改築	0.55	(1)役場天啓線	バイパス L=695m	多気町						187	
7-A9	道路	一般	明和町	直接		市町村道	交安	0.55	(1)前野川尻線	自歩道整備 L=1.0km	明和町						92	
7-A10	道路	一般	明和町	直接		市町村道	交安	0.55	(1)坂本前野線	自歩道整備 L=1.0km	明和町						298	
7-A11	道路	一般	明和町	直接		市町村道	改築	0.55	(2)本郷勝見第二線	バイパス L=0.52km	明和町						240	
7-A12	道路	一般	明和町	直接		市町村道	改築	0.55	(他)山大淀根倉養川線	橋梁架替 L=25m	明和町						86	
7-A13	道路	一般	明和町	直接		市町村道	修繕	0.55	(他)内座1号線外74路線	道路施設修繕 L=1,761m	明和町						130	
7-A14	道路	一般	大台町	直接		市町村道	改築	0.55	(1)御棟・唐櫃線(新宮川橋)	橋梁架替 N=1橋	大台町						394	
7-A15	道路	一般	大台町	直接		市町村道	修繕	0.55	(1)大井・滝谷線(大滝橋)	耐震補強 N=1橋	大台町						29	
7-A16	道路	一般	大台町	直接		市町村道	修繕	0.55	(1)新大杉谷線(深谷橋)	耐震補強 N=1橋	大台町						39	
7-A17	道路	一般	大台町	直接		市町村道	修繕	0.55	(2)若山線(若山橋)	耐震補強 N=1橋	大台町						17	
7-A18	道路	一般	大台町	直接		市町村道	修繕	0.55	(1)本郷岡ヶ野線(栃原橋)	耐震補強 N=1橋	大台町						9	
7-A19	道路	一般	大台町	直接		市町村道	修繕	0.55	(他)宮神1号線(濁川橋)	耐震補強 N=1橋	大台町						27	
7-A20	道路	一般	大台町	直接		市町村道	修繕	0.55	(他)中山線(駒の谷橋)	耐震補強 N=1橋	大台町						6	
7-A22	道路	一般	大台町	直接		市町村道	修繕	0.55	(2)細洲線(半次郎橋)	橋梁架替 N=1橋	大台町						13	
7-A23	道路	一般	大台町	直接		市町村道	修繕	0.55	(2)余谷・五十田線(三滝橋)	耐震補強 N=1橋	大台町						19	
7-A25	道路	一般	大台町	直接		市町村道	修繕	0.55	(他)仁衛門谷線(宮ノ下橋)	耐震補強 N=1橋	大台町						15	
7-A27	道路	一般	大台町	直接		市町村道	修繕	0.55	(2)浦谷線(金生橋)	耐震補強 N=1橋	大台町						8	
7-A28	道路	一般	大台町	直接		市町村道	修繕	0.55	(2)大林1号線(本多橋)	耐震補強 N=1橋	大台町						29	
7-A29	道路	一般	大台町	直接		市町村道	修繕	0.55	(1)新大杉谷線(谷口橋)	耐震補強 N=1橋	大台町						16	
7-A33	道路	一般	大台町	直接		市町村道	修繕	0.55	(1)新大杉谷線	道路施設修繕 N=1式	大台町						5	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況							
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・1級町道役場天啓線、2級町道本郷勝見第二線などのバイパス整備や、1級町道明和中央線などの現道拡幅等を行った結果、幹線道路とアクセス不便地間における狭隘区間が解消されたことにより、交通の流れがスムーズになり、平均走行速度が向上し、移動時間の短縮が図れたため地域住民の利便性が向上した。併せて地域住民の避難路としての機能が整備されたことにより安全・安心の向上を図ることができた。 ・明和町大淀小学校南区における歩行空間整備（路肩整備）などを行った結果、通学路の危険箇所が減少し、児童の通学時における安全・安心を向上が図ることができた。 ・1級市道野々口宮前旧国道線（野々口橋）、2級町道大林1号線（本多橋）などの橋梁耐震対策やその他町中町役場馬之上線、明星東3号線などの冠水対策を行った結果、災害時における避難路確保等の防災機能強化など地域住民の安全・安心の向上を図ることができた。 					
II 定量的指標の達成状況	指標①（幹線道路とアクセス不便地間における平均走行速度）	最終目標値	23 km/h	目標値と実績値に差が出た要因	バイパス事業において、文化財調査が当初の想定より期間を要したことや、必要な交付金予算が確保できなかったことなどにより、計画個所全てが完成せず部分供用で一定の効果は得られたものの、当初計画で想定していた事業進捗に遅れが発生したため。		
		最終実績値	22 km/h				
	指標②（通学路において道路管理者が対策を講じるべき危険箇所（H24合同点検対策必要箇所）の対策率）	最終目標値	39 %	目標値と実績値に差が出た要因		路肩整備や区画線設置、カラー舗装などの交通安全対策において、地域住民の積極的な協力が得られたことにより、関係機関等との調整を円滑に行うことができたため、目標を大幅に超えて対策を進めることができた。	
		最終実績値	64 %				
	指標③（沿道施設の整備による生活環境の向上や災害に備えた防災機能の強化が図れた地区整備率）	最終目標値	32 %	目標値と実績値に差が出た要因			橋梁長寿命化修繕事業における一部の橋梁において、関係機関等との調整に当初の想定より期間を要したことにより事業進捗に遅れが生じたため。
		最終実績値	30 %				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・1級町道西五佐奈線（大峰橋）、1級町道黒田山線（池上橋）などの橋梁耐震対策を行ったことにより、橋梁の耐震性が向上し、大規模な地震発生に備えた避難路等の通行を確保することができた。 ・1級町道成川玉城線、1級町道東池上河田線の舗装修繕を行ったことにより、快適な走行性を回復し、道路利用者及び地域住民の安心・安全の向上を図ることができた。 ・橋梁長寿命化修繕計画を策定することにより、円滑なメンテナンスサイクルを構築し効率的かつ効果的な橋梁修繕を図ることができた。 					
3. 特記事項（今後の方針等）							
事業継続中の箇所について、早期に事業効果が発現できるよう事業進捗を図るなど、引き続き計画的な道路整備及び橋梁の修繕や耐震対策を推進し、地域が活性化するまちづくりを目指すとともに、生活環境や防災機能の向上を図るなど地域住民の安全安心を強化していく。							